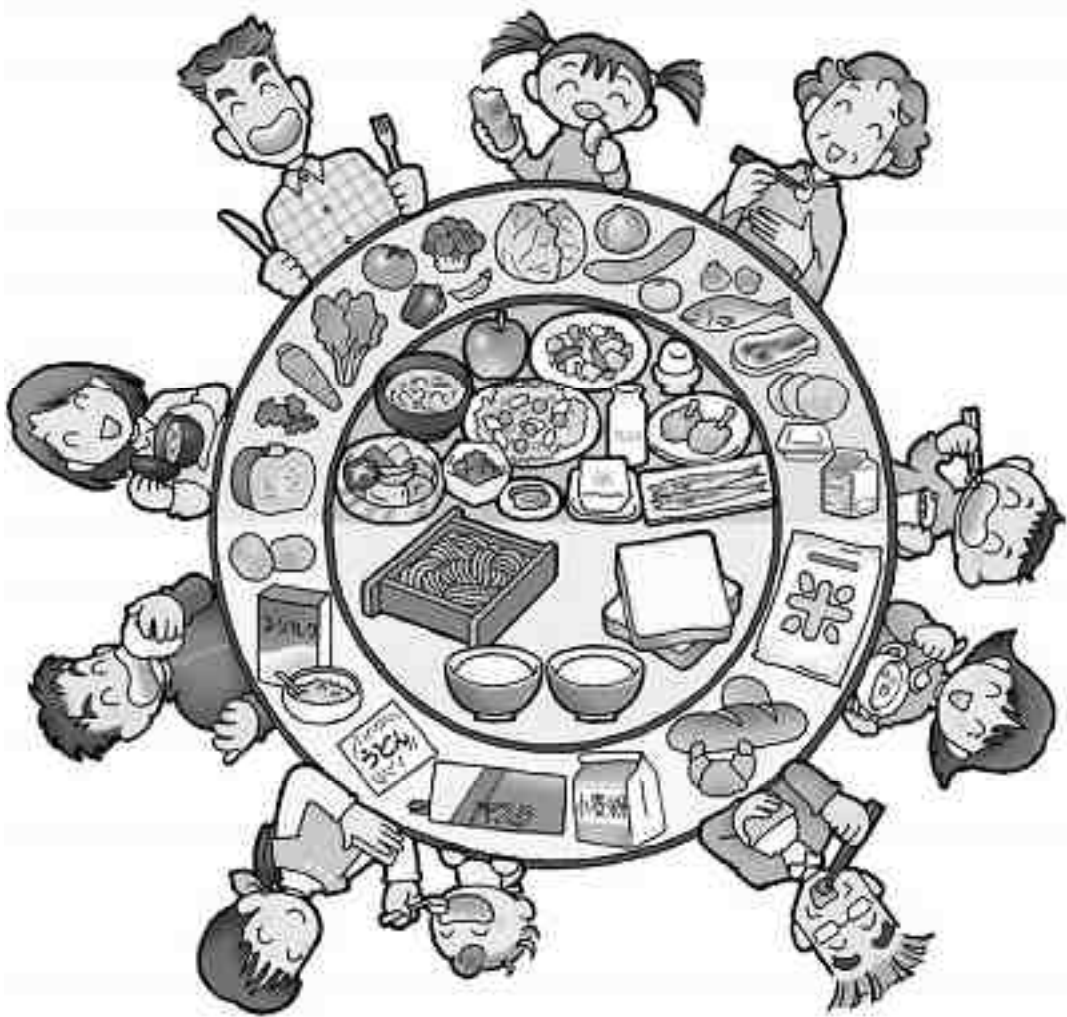


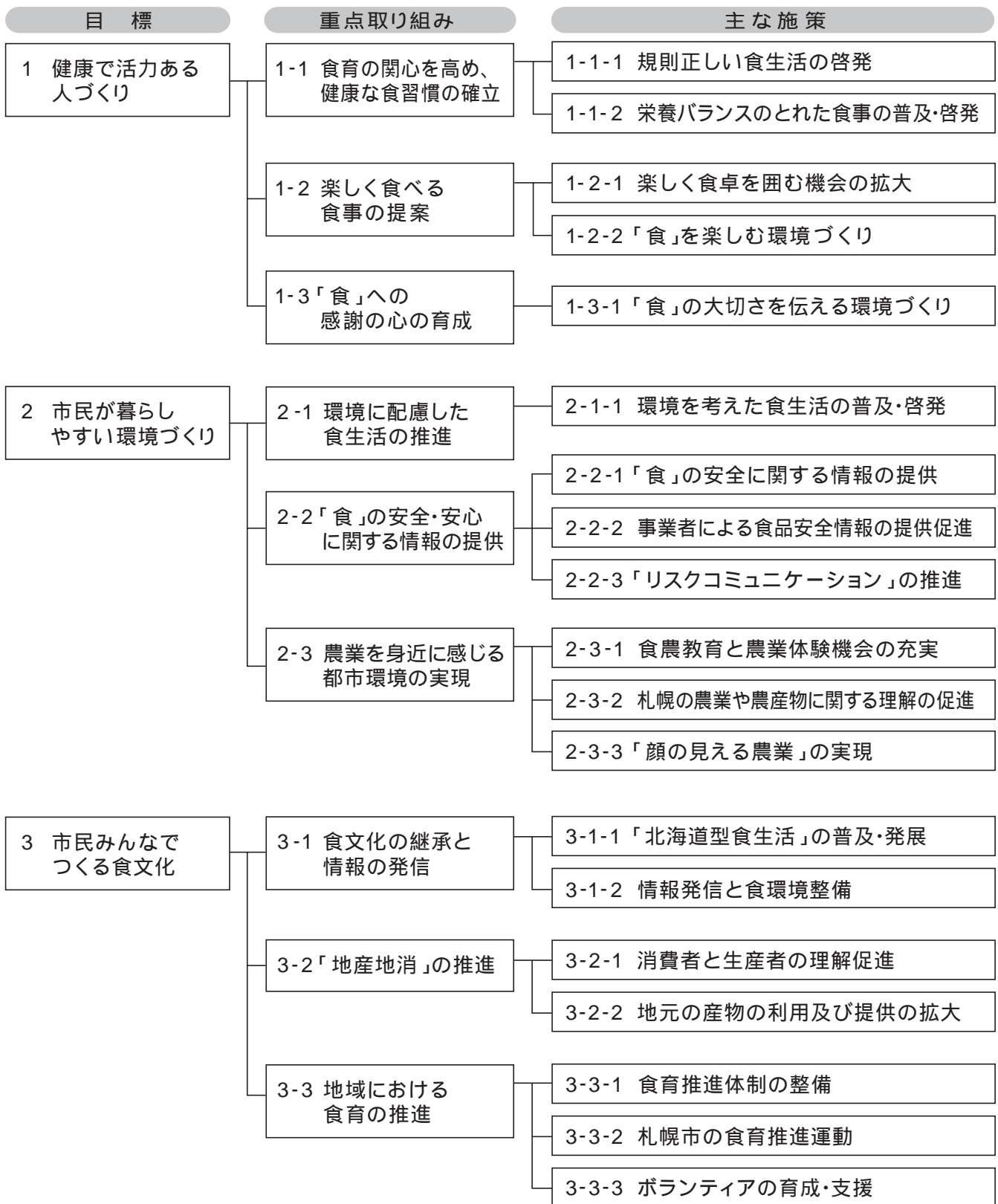
札幌市食育推進計画アクションプラン（行動計画）

札幌市では、食育推進計画の推進のために食育事業を行います。
次ページ以降には、具体的な事業を紹介しています。



このアクションプランは、平成20年（2008年）8月現在の状況をまとめたものです。
社会情勢の変化や計画の進捗状況などにより事業の変更等があります。

施策の体系



注) 1. 事業名を記載。第2次札幌新まちづくり計画事業は、事業名の前に()表記。
 2. 内に推進局を記載。
 3. 目標は、計画最終年度(H24年度)までの目標値を記載。目標値が計画最終年度ではない事業は、予定最終年度を記載。目標値を数値化することがない又は難しい事業は無記入。
 4. 計画開始年(H20年度)以降に実施する事業は【新】と記載。H20年度前から実施し、今後も継続する事業は【継続】と記載。

目 標	重点 取組	主な 施策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-1 食育への 関心を高 め、健康 な食習慣 の確立	1-1-1 規則正し い食生活 の啓発	<p>早寝、早起き、朝ごはん推進運動 保健福祉局・子ども未来局・区・教育委員会【新】</p> <p>基本的な生活習慣が乱れ「夜ふかしをする」「朝食を食べない」子どもが増えています。これらの生活習慣が子どもの学習意欲や体力、気力に影響を及ぼしていることが指摘されています。</p> <p>子どもの生活リズムを向上させるために、保健所、保健センター、子育て支援センター、学校等では保護者や児童に対して早寝、早起き、朝ごはん運動を進めます。</p> <p>対象〔乳幼児の保護者、児童・生徒、児童・生徒の保護者〕</p> <p>実績(現状値)毎日朝食をとる小学生 H17:83.3% 目標 100%</p> <p>食関連企業等から食育情報発信 保健福祉局【新】</p> <p>保健所では、食関連企業の飲食店等からの食育情報発信をしやすくするために、食育情報ホームページを開設します。</p> <p>また民間広報紙に食育情報を提供し、食育情報が発信しやすい取り組みを行います。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)食育ホームページからの情報発信 更新回数) H19:0回 目標 各年6回</p> <p>ホームページによる情報提供 子ども未来局【新】</p> <p>保育所で実施している離乳の進め方や離乳食についてホームページに掲載し、情報を提供します。また、保育所における食物アレルギーのある児童への対応マニュアルについても掲載します。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)子ども未来局ホームページからの情報提供 離乳食についての更新回数 H19:年0回 目標 各年4回</p> <p>地域・職場の健康相談の活用 保健福祉局【新】</p> <p>地域職域連携のもと、保健所では、メタボリックシンドローム予防対策として札幌市食生活指針などの食育情報を職場の健康相談に活用できるようにします。</p> <p>対象〔勤労者〕</p> <p>実績(現状値)地域職域連携事業 情報提供回数 H19:0回 目標 各年1回</p> <p>保健センターの食育 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健センターでは、子どもの心身の健全な発育のために、乳幼児健診の機会を利用し、保護者に対する食支援を行います。</p> <p>また、母乳または育児用ミルクから幼児食へ移行する離乳食について学ぶ講習会や、妊産婦を対象とした母親教室・マタニティクッキングの機会などを利用して、生活リズムの整った食生活の必要性について啓発します。</p> <p>また、地域の健康づくり事業を通じて食育を進めます。</p> <p>対象〔乳幼児の保護者、妊産婦〕</p> <p>実績(現状値)3歳児健診啓発数 H19:12,704人 目標 3歳児健診受診者全員 母親教室参加者数 H19:2,695人 目標 母親教室参加者全員</p>

目 標	重点 取組	主な 施策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-1 食育への 関心を高 め、健康 な食習慣 の確立	1-1-1 規則正し い食生活 の啓発	<p>栄養相談 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所では、入所児童の保護者や子育て中の人に対して離乳の進め方や栄養・食生活に関する相談や情報の提供を行います。また、子どもの生活リズムを整え、朝ごはんを食べる習慣を身につけるよう啓発します。</p> <p>子育て支援総合センターや区保育・子育て支援センターでは、子育てサロンを常設し、食生活を含めた様々な相談を行ったり、保育所の給食の展示や希望者には献立表の配布を行います。</p> <p>対象〔保育所入所児童の保護者〕 実績(現状値) 栄養相談実施数 H19:1,578人 公立保育所栄養士指導実績 目標 各年1,600人</p> <p>対象〔子育て中の人〕 実績(現状値) 栄養相談実施数 H19:1,031人 目標 各年1,200人 公立保育所栄養士及び子育て支援総合センター指導実績</p> <p>学校給食の実施 教育委員会【継続】</p> <p>学校給食は、成長期にある子どもの心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもとより、食に関する指導を効果的に進めるための生きた教材としての役割を果たしていきます。</p> <p>対象〔児童・生徒〕 実績(現状値) 市内全小・中学校で実施 H19:305校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>給食試食会の開催 教育委員会【継続】</p> <p>学校では、給食試食会を開催し、家庭・地域へ食育情報を提供します。</p> <p>対象〔児童・生徒の保護者等〕 実績(現状値) 実施している学校数 H19:279校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>家庭教育事業 教育委員会【継続】</p> <p>家庭における教育力向上のため、幼稚園、小学校、中学校の保護者などを対象に家庭教育の知識、子どもの心の理解、親の役割などについて計画的・継続的に自主学習する「家庭教育学級」を通じて、食育に関する情報提供を行います。</p> <p>対象〔児童・生徒の保護者〕 実績(現状値) 家庭教育学級数 H18:206学級 H22目標 214学級</p> <p>食育講座の開催 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所、区保育・子育て支援センターや子育て支援総合センターでは、「食育講座」を開催し、子育て中の人などへ離乳の進め方や望ましい食生活について啓発を行います。また、入所児童に食習慣や衛生についての関心を高める「食育指導」を行います。</p> <p>対象〔子育て中の人・一般〕 実績(現状値) 食育講座参加者 H19:58回605人 目標 700人 公立保育所栄養士及び子育て支援総合センター指導実績</p> <p>対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値) 食育指導人数 1,672人 目標 1,700人 公立保育所栄養士指導実績</p> <p>食育年間計画の作成 子ども未来局【継続】</p> <p>生涯の生活習慣の基礎となる乳幼児期に、適切な食習慣を身につけることはQOLを向上させ、健やかな生活を送るうえで大切なことです。保育所では、食育の目標を、食を営む力の基礎を培うこととし、食育年間計画を作成します。</p> <p>対象〔保育所〕 実績(現状値) 食育年間計画を作成している施設数 H19:93施設 目標 190施設(全施設)</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
1 健 康 で 活 力 あ る 人 づ く り	1-1 食 育 へ の 関 心 を 高 め 、 健 康 な 食 習 慣 の 確 立	1-1-1 規 則 正 し い 食 生 活 の 啓 発	<p style="text-align: center;">保育所給食の提供 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所では、子どもの発育や健康の維持・増進をめざし、おいしい、楽しいという気持ちや食事を大切にする考え方などを育むことにも配慮して給食を提供します。 また、給食を通して、家庭や地域の健康、栄養、衛生に対する関心を高め、望ましい食生活のありかたを啓発します。 対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値)給食実施施設数 H19:187施設(全施設) 17,000人 目標 190施設(全施設)</p> <p style="text-align: center;">くらしのニュースの発行 市民まちづくり局【継続】</p> <p>消費者センターでは、くらしのニュースにより悪質商法による被害の情報や商品等の安全情報等に加え、国民生活センター等から入手した情報の提供を行います。 対象〔市民〕 実績(現状値)くらしのニュース発行数 H19:35,000部 目標 各年35,000部</p>
		1-1-2 栄 養 バ ラ ン ス の と れ た 食 事 の 普 及 啓 発	<p style="text-align: center;">特定保健指導事業 保健福祉局・区【新】</p> <p>区保健福祉部等では、特定健康診査で特定保健指導の対象者と判定された方を対象に、行動変容を促し健康的な生活を維持するための支援を行い、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的とした特定保健指導を実施します。 対象〔実施年度に40歳～74歳となる国民健康保険被保険者〕 実績(現状値)保健指導人数 H19:0人 目標 38,700人</p> <p style="text-align: center;">メタボリックシンドローム健康教室の開催 保健福祉局・区【新】</p> <p>保健センターでは、生活習慣病予防対策として生活習慣病や肥満が気になる人を対象に栄養・歯の講話、運動実技を取り入れた「メタボリックシンドローム」対策の講座を開催します。 対象〔40歳以上の市民〕 実績(現状値)健康教室開催数 H19:0回 目標 各年40回</p> <p style="text-align: center;">特定給食施設指導事業 保健福祉局【継続】</p> <p>保健所では、事業所などで給食を提供している施設管理者に対し、肥満予防のための栄養管理や、メタボリックシンドローム予防のための情報提供を行います。 対象〔市内で事業所給食を利用している人〕 実績(現状値)事業所給食支援人数 H19:14,474人 目標 各年15,000人</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-1 食育への 関心を高 め、健康 な食習慣 の確立	1-1-2 栄養バ ランスの とれた食 事の普及 啓発	<p style="text-align: center;">日本型食生活の普及 保健福祉局・子ども未来局・区・教育委員会【継続】</p> <p>ご飯を主食として、野菜や肉、魚、海そうなどがバランスよくとれる「日本型食生活」の推進を図り、脂質のとり過ぎを防ぐ食事の啓発に努めます。</p> <p>保健所・保健センターでは、特定給食施設指導や地域の健康教育において普及・啓発します。子ども未来局では、職員の研修会などを開催し、普及・啓発に努めます。また、家庭でも食事の栄養バランスに関心を深めるよう給食だよりを活用して「日本型食生活」について情報を提供します。</p> <p>学校では、給食だよりなどを活用して「日本型食生活」について啓発します。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)保健所特定給食施設指導件数 H19:0施設 目標 各年140施設 保健センター健康教育回数(日本型食生活)H19:0回 目標 各年100回以上 職員研修回数:子ども未来局 H19:未実施 目標 各年1回 給食だより発行施設数:子ども未来局 H19:187施設(全施設) 目標 190施設 学校給食だより発行数(日本型食生活) H19:305校(全小中学校) 目標 305校</p> <p style="text-align: center;">野菜摂取強化事業 保健福祉局、子ども未来局、区、教育委員会【継続】</p> <p>保健所では8月を野菜摂取強化月間と定め、関係機関等と連携し野菜摂取の強化に取り組みます。</p> <p>野菜販売店で野菜レシピの配布などを行う働きかけを行います。保健センターでは、野菜レシピなどを配布し野菜摂取強化の啓発を行います。</p> <p>保育所では、毎月配布する献立表に「1日は野菜の日」を表記します。また、8月の「野菜摂取強化月間」では、ポスターの掲示、野菜レシピや給食だよりの配布を行い野菜摂取の関心を高めます。子どもや保護者等への食教育も積極的に行います。</p> <p>教育委員会では、啓発ポスターの掲示や給食だよりへの掲載などを通して野菜摂取強化月間について啓発に努めます。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)保健福祉局レシピ配布数 H19:30,000枚 目標 各年30,000枚 対象〔保育所入所児童の保護者〕 実績(現状値)野菜レシピ等発行施設数 H19:187施設(全施設) 17,000人 目標 190施設(全施設) 対象〔保育所入所児童と保護者〕 実績(現状値)食指導実施施設数 H19:158施設(17,823人) 目標 160施設 対象〔子育て中の人、一般〕 実績(現状値)食指導実施施設対象数 H19:3,111人 目標 各年3,200人 公立保育所栄養士及び子育て支援総合センター指導実績</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-1 食育への 関心を高 め、健康 な食習慣 の確立	1-1-2 栄養バ ランスの とれた食 事の普及 啓発	<p style="text-align: center;">牛乳・乳製品摂取強化事業 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健所・保健センターでは、健康フェアなどでボランティア団体等と協働で、牛乳・乳製品に関するパネル展示や料理レシピ等を配布し啓発に努めます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)よい食生活をすすめるグループ講習会 H19:5,784人 目標 各年6,000人以上</p> <p style="text-align: center;">食事バランスガイド等の普及・啓発 保健福祉局・区【継続】</p> <p>農林水産省と厚生労働省が共同で策定した「食事バランスガイド」や札幌市食生活指針策定検討委員会が策定した「札幌市食生活指針」を活用し、何をどれだけとることが必要なのか等、適切なエネルギーのとり方等を地域の健康づくり教室などの機会に、肥満度の指数(BMI)と併せ普及・啓発し、適正体重の人の増加を目指します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)食事バランスガイド、食生活指針等の啓発回数 保健センター啓発数 H19:6,141回 目標 各年6,000回以上</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-2 楽しく 食べる 食事の 提案	1-2-1 楽しく 食卓を 囲む 機会の 拡大	<p>給食だよりの発行 子ども未来局、教育委員会【継続】</p> <p>子どもだけの食事(孤食)は、栄養の偏る恐れがあることが指摘されていますが、栄養状態の問題だけではなく親子のコミュニケーションを図る上でも、共に食卓を囲む意義があります。忙しい毎日を送る生活の中でも、共に食べることの意義を保育所や学校で発行する給食だより等を通じて保護者に啓発していきます。</p> <p>対象〔保育所入所児童・学校に通う子どもの保護者〕</p> <p>実績(現状値)給食だより発行施設数 H19:子ども未来局187施設 目標 190施設(全施設) (月1回)全施設)</p> <p>:給食だより発行施設数 H19: 教育委員会 H19:小中学校数305校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>家庭教育学級の活用 教育委員会【継続】</p> <p>家庭教育学級などを活用して、幼稚園、小学校、中学校の保護者などが、楽しく食卓を囲む機会の重要性について学ぶ機会を作ります。</p> <p>対象〔幼稚園、小学校、中学校の保護者など〕</p> <p>実績(現状値)家庭教育学級における食に関する活動回数 H19:249回 目標 各年250回</p> <p>給食時間の食指導の充実 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所では、給食時間に友達と楽しく会食することや正しいマナーを身につけられるように食指導の充実を図ります。</p> <p>対象〔保育所入所児童〕</p> <p>実績(現状値)食指導実施施設 H19:187施設(全施設) 17,000人) 目標 190施設(全施設)</p>
	1-2-2 食を 楽しむ 環境 づくり		<p>高齢者ひとくち講座の開催 保健福祉局【新】</p> <p>低栄養や閉じこもり予防等を目的として、ひとり暮らしの高齢者が楽しく集える機会を作り、栄養に関する講話や軽食の提供などを内容とした「高齢者ひとくち講座」をボランティア団体の食生活改善推進員協議会の協力を得て開催します。</p> <p>対象〔介護予防センター利用者〕</p> <p>実績(現状値)高齢者ひとくち講座 H19:0回 目標 300回(各年60回)</p> <p>乳幼児健診での普及・啓発 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健センターでは、3歳児健診などを活用して、「食」を楽しむ機会を作ります。</p> <p>対象〔3歳児健診受診の保護者〕</p> <p>実績(現状値)3歳児健診受診者 H19:12,704人 目標 各年12,000人</p> <p>給食時間の食指導の充実 教育委員会【継続】</p> <p>学校では、給食時間に友達と楽しく会食することや正しいマナーを身につけられるように食指導の充実を図ります。</p> <p>対象〔児童・生徒〕</p> <p>実績(現状値)教育委員会 H19:小中学校数305校(全小中学校) 目標 305校(全小中学校)</p> <p>家庭料理レシピ集の配布 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健所・保健センターでは、家族で食事作りに取り組みやすくするために、家庭料理レシピを作成し、健康づくりの教室参加者等へ配布します。</p> <p>対象〔健康づくり教室参加者、親子料理教室参加者等〕</p> <p>実績(現状値)親子料理教室・男性料理教室参加者数 H19:1,349人 目標 各年1,500人 母親教室参加者数 H19:2,695人 目標 母親教室参加者全員</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-2 楽しく 食べる 食事の 提案	1-2-2 食を 楽しむ 環境 づくり	<p style="text-align: center;">ボランティア団体による啓発事業 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健センターでは、食生活改善推進員などのボランティア団体が望ましい食事のとり方などについて普及啓発するための支援を行います。</p> <p>対象〔ボランティア団体〕</p> <p>実績(現状値)保健センターボランティア支援回数 H19:50回 目標 各年60回 母親教室参加者数 H19:2,695人 目標 母親教室参加者全員</p> <p style="text-align: center;">農業体験などの食体験 経済局【継続】</p> <p>「さとらんど」が企画し、農業体験や料理教室を通じて、収穫の喜びや食事の大切さを共感できるように体験型学習の充実を図ります。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)農業体験事業参加者 H19:140,184人 目標 各年100,000人</p> <p style="text-align: center;">家庭責任の分担意識にかかる啓発 市民まちづくり局【継続】</p> <p>男女共同参画室では、料理やあと片付けを含めた家事・育児などの家庭責任を、男女がともに担い、支えあって生活していくための意識啓発を行います。</p> <p>対象〔成人男性〕</p> <p>実績(現状値)男女共同参画センターライフプラン講座 実施回数・参加者数 H19:1回13人 目標 各年1回</p> <p style="text-align: center;">男性の食事づくり参加への支援 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健センターでは、男性の食生活の自立や地域で健康づくり活動を行うことを目的に開催する「男性料理教室」等を支援します。</p> <p>対象〔成人男性〕</p> <p>実績(現状値)男性の料理教室支援回数 H19:24回 目標 各年10回以上</p> <p style="text-align: center;">学校ホームページの活用 教育委員会【継続】</p> <p>学校では、楽しく食べる意義などを学校ホームページを活用し情報を発信します。</p> <p>対象〔児童・生徒・保護者・市民〕</p> <p>実績(現状値)今後調査</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
1 健康で 活力ある 人づくり	1-3 「食」へ 感謝の心 の育成	1-3-1 「食」の 大切さを 伝える環 境づくり	<p>食の大切さを伝える 保健福祉局・区【新】</p> <p>動植物の命を受け継いで、私たちの「食」が成り立っていますが、普段の生活では「食」の大切さを実感することが少なくなっています。</p> <p>食生活改善推進員協議会などのボランティア団体と共に食の大切さを伝えていきます。</p> <p>対象〔健康料理教室参加者、食育フェア等参加者〕</p> <p>実績(現状値)H19:0人 目標 各年1,000人</p> <p>小学生の農業体験等の機会拡充 教育委員会【継続】</p> <p>教育委員会では、子どもが食への関心を一層高めるとともに、食の大切さへの理解をさらに深められるよう、「さっぽろ学校給食フードリサイクル事業」と関連を図りながら、農業体験等の食料生産に係る体験的な学習の機会を拡充してきます。</p> <p>対象〔小学生〕</p> <p>実績(現状値)農業体験等の体験的な学習の実施小学校 H19:117校 目標 小学校207校(全小学校)</p> <p>いただきます。ごちそうさま運動 保健福祉局・子ども未来局・区・教育委員会【継続】</p> <p>保健センターでは、乳幼児健診や妊産婦対象の母親教室などの機会に「食」の大切さについて啓発します。保育所や学校では、給食や食指導などを通して「食」の大切さを学ぶ機会を作っていきます。</p> <p>対象〔乳幼児の保護者、妊産婦〕</p> <p>実績(現状値)3歳児健診受診者 H19:12,704人 目標 各年3歳児健診受診者全員</p> <p>母親教室啓発数 H19:0人 目標 各年母親教室参加者全員</p> <p>対象〔保育所入所児童〕</p> <p>実績(現状値)給食実施施設数 H19:187施設(全施設) 17,000人) 目標 190施設(全施設)</p> <p>対象〔小中学生〕</p> <p>実績(現状値)H19:小中学校数305校(全小中学校) 目標 305校(全小中学校)</p> <p>市場見学の受け入れ 経済局【継続】</p> <p>札幌の食の流通の拠点である札幌市中央卸売市場で水産物や青果物の取引を見学し、せりの仕組みについて学びます。豊富な食材に感謝し、食べ物に無駄をせず大切に作る心を育みます。</p> <p>対象〔市民、料理教室参加者〕</p> <p>実績(現状値)市場見学来場者累計 H19:6,338人 目標 各年10,000人</p> <p>市場で学ぶ・作る・食べる「やさい・くだもの料理教室」参加者 H19:349人 目標 各年440人</p> <p>「おさかな料理教室」参加者 H19:2,120人 目標 各年2,500人</p> <p>(市場見学来場者には、料理教室と併せて見学をした者を含む。)</p> <p>やさい・くだもの消費拡大フェア 経済局【継続】</p> <p>消費者を招待し、会場内に設置した中央卸売市場PRコーナー、試食コーナー、栄養学ミニセミナー等を通じて、野菜や果物の品種や調理方法、栄養価などについて学ぶ機会を作っていきます。</p> <p>対象〔市民〕</p> <p>実績(現状値)やさい・くだもの消費拡大フェア参加者 H19:800人 目標 各年800人</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
2 市民が暮らしやすい環境づくり	2-1 環境に配慮した食生活の推進	2-1-1 環境を考えた食生活の普及・啓発	<p>もったいない運動 市民まちづくり局・保健福祉局・環境局・経済局・子ども未来局・区・教育委員会【新】 食生活を通して廃棄物の少ない生活を進め、環境を守る意識を育てていくことが必要になっていきます。 食育関係局では、あらゆる機会にもったいない運動を進めます。保健所・保健センターでは、飲食店にご飯の盛り方等に配慮する運動を進め食品を捨てないようにする運動を進めます。 ごみ減量化の意識の向上とともに、適正なエネルギー摂取を図るために、エネルギー表示の取り組みも併せて行います。 もったいない運動を広めていくために、市民からエコクッキングなどの「もったいない」情報を集めます。 対象〔市民・飲食店〕 実績(現状値)もったいない運動参加店数 H19:0店 目標 250店 もったいない情報数 H19:0件 目標 500件</p> <p>マイはし運動 保健福祉局・区【新】 保健所・保健センターでは、市民が飲食店を利用する際に、わりばしの使用を控え自分のはしを使用する「マイはし運動」を推進します。 対象〔職員・市民〕 実績(現状値)市役所地下食堂わりばし使用量 H19:1,800膳/日 目標 300膳/日</p> <p>エコ学習会の開催 環境局【継続】 リサイクルプラザでは、幼稚園、小・中学生を対象に紙芝居やビデオなどを活用し、ごみ減量とリサイクルに関する情報提供を行います。また、一般市民を対象として学習会の開催も行っています。 対象〔市民〕 実績(現状値)H19:11回 目標 各年12回</p> <p>生ごみ減量・リサイクル講師派遣事業 環境局【継続】 リサイクルプラザでは、町内会や学校等の団体(10人程度)が生ごみを堆肥化するなどのテーマで学習会を行う場合に講師を派遣します。 対象〔市民〕 実績(現状値)H19:35回 目標 各年40回</p> <p>生ごみ減量等の展示事業 環境局【継続】 リサイクルプラザでは、わかりやすいごみの分別方法や、生ごみ堆肥化コーナーなどで、ごみの減量やリサイクルに関する情報提供を行っています。 対象〔市民〕 実績(現状値)H19:12回 目標 各年12回</p> <p>アラエール号の利用 環境局【継続】 リサイクルプラザでは、飲食が伴うイベントで、できるだけごみを出さないようにするために、食器洗浄機を搭載した小型トラックの「アラエール号」の貸し出しを行っています。 対象〔市民〕 実績(現状値)H19:36回 目標 各年45回</p> <p>GOMIマガジン等の発行 環境局【継続】 環境事業部では、GOMIマガジンや生ごみハンドブックなどを活用し、ごみ減量化に向けて市民啓発を行います。 対象〔市民〕 実績(現状値)H19:20,000部 目標 各年20,000部</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年～ H24年)
2 市民が暮らしやすい環境づくり	2-1 環境に配慮した食生活の推進	2-1-1 環境を考えた食生活の普及・啓発	<p>さっぽろ学校給食フードリサイクル 教育委員会【継続】</p> <p>食育・環境教育のひとつとして、給食調理の過程で出る調理のくずや生ごみを堆肥化し、農家はその堆肥を利用して作物を栽培し、給食の食材に、その作物を利用するというリサイクルを確立します。</p> <p>対象〔小学校・中学校〕リサイクル堆肥を使用した作物の提供校 実績(現状値)H19:272校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>「ごみ減量」等の学習会の開催 教育委員会【継続】</p> <p>家庭教育学級などで「ごみ減量とリサイクル」などを学ぶ機会を作ります。</p> <p>対象〔幼稚園、小学校、中学校の保護者など〕 実績(現状値)家庭教育学級におけるごみ減量・リサイクルに関する活動回数 H19:17回 目標 各年17回</p> <p>エコクッキングの推進 保健福祉局・環境局・区【継続】</p> <p>保健センター等では、食材を無駄にしないことや、ガスや電気などのエネルギーを無駄にしない料理の推進を図るために、ボランティア団体等とともにエコクッキングの普及に努めます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)エコクッキング市民啓発回数 H19:保健センター啓発回数174回 目標 各年180回</p> <p>家庭用廃食油資源化促進事業 環境局【継続】</p> <p>環境事業部では、家庭から排出される使用済み食用油(廃食油)の減量・資源化及び地球温暖化・大気汚染の防止を促進するため、廃食油の回収及びバイオディーゼル燃料への資源化を行います。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)廃食油回収拠点数 74か所(H20.4.1現在) H22目標 200か所 廃食油回収量 H19:21,395 H22目標 84,000</p> <p>さっぽろエコ市民運動 環境局【継続】</p> <p>環境都市推進部では、食材を無駄なく使うなどの環境に優しい行動が記載された“エコライフレポート”を市民に提出してもらい、それによるCO2削減効果を木の本数に換算し、“エコライフの森”として植樹等を実施します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)エコライフレポートの集計に基づく植樹本数 H19:11,193本 H22目標 累計10万本</p> <p>環境情報誌「えこぼろ」による環境講座の紹介 環境局【継続】</p> <p>環境都市推進部では、毎月環境情報誌「えこぼろ」を発行し、エコクッキングなどの環境に関するイベント・講座の情報や、暮らしに役立つエコ知識などを紹介します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)環境情報誌「えこぼろ」発行数 H19:毎月5,000部 H22目標 毎月5,000部</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
2 市民が暮らしやすい環境づくり	2-2 食の安全・安心に関する情報提供	2-2-1 「食」の安全に関する情報の提供	<p style="text-align: center;">安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業 保健福祉局【新】</p> <p>保健所では、食産業や観光の振興も視野に入れた食の安全・安心に関する総合的な施策の推進を図ります。 対象〔市民・食品関連事業者〕</p> <p style="text-align: center;">家庭教育学級への情報提供 保健福祉局【新】</p> <p>保健所では、家庭教育学級の学習会に食品衛生監視員などの講師を派遣し、食の安全について情報提供を行います。 対象〔小・中学生の保護者〕 実績(現状値)実施回数 H19:0回 目標 各年10回</p> <p style="text-align: center;">啓発事業の実施 保健福祉局【継続】</p> <p>保健所では、くらしの衛生展、山菜展、きのこ展などの催しを開催し、食の安全の正しい知識や情報について、広く市民に普及啓発します。 対象〔市民〕 実績(現状値)くらしの衛生展開催回数 H19:1回 目標 各年1回 実績(現状値)山菜展開催回数 H19:1回 目標 各年1回 実績(現状値)きのこ展開催回数 H19:1回 目標 各年1回</p> <p style="text-align: center;">食品衛生の情報提供 保健福祉局【継続】</p> <p>市民が自らの判断で「食」を正しく選択し、安心して健全な食生活を実践できるようにすることが必要になっています。 保健所では、食品衛生情報誌「キッチンメール」や食品の安全性に関するパンフレットの発行、ホームページ、出前講座などにより、市民に「食」の安全について、情報提供を行います。 対象〔市民〕 実績(現状値)キッチンメール発行数 H19:15,000部 目標 各年15,000部 出前講座 H19:22回 目標 各年20回</p> <p style="text-align: center;">市場見学の受け入れ 経済局【継続】</p> <p>中央卸売市場では、魚や野菜、果物などの生鮮食料品の流通に関する理解を深めるために、展示室、資料室、セリの様子を見られる見学者通路を整備し、市場見学の受け入れを行います。 対象〔市民〕 実績(現状値)市場見学来場者累計 H19:6,338人(再掲) 目標 各年10,000人</p> <p style="text-align: center;">魚や野菜、果物の情報発信 経済局【継続】</p> <p>中央卸売市場では、市場ホームページ等を活用し、魚や野菜、果物の取引量や旬の食材の情報発信、市場としての安全安心の取り組みを紹介していきます。 また、平成20年度はNHK(北海道)の生中継により、旬の食材等の情報(産地情報含む)を発信していきます。 対象〔市民〕 実績(現状値)ホームページの更新2回 目標 各年2回以上</p> <p style="text-align: center;">消費者センター展示コーナー 市民まちづくり局【継続】</p> <p>消費者センターでは、展示コーナーにおいて、商品選択に必要な知識や暮らしに役立つ知識の普及と啓発を行います。 対象〔市民〕 実績(現状値)利用者 H19:17,998人 目標 18,000人</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
2 市民が暮らしやすい環境づくり	2-2 食の安全・安心に関する情報提供	2-2-1 「食」の安全に関する情報の提供	<p>学校から情報発信 教育委員会【継続】 学校では、給食の時間などを通して食品の衛生的な取扱いについて学習します。 対象〔児童・生徒〕 実績(現状値)H19:小中学校305校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>保育所で食品衛生に関する指導 子ども未来局【継続】 保育所では、給食を食べる前の手洗いやクッキングなどを通して衛生について学習します。 対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値)指導実施施設数 H19:187施設(17,000人)〔全施設〕 目標 190施設(全施設)</p>
		2-2-2 事業者による食品安全情報の普及・啓発	<p>事業者の自主的な衛生管理の推進 保健福祉局【継続】 保健所では、自主的に的確な衛生管理を行う施設を認定する「札幌市食品衛生管理認定制度(しょくまる)」の周知・普及を図り、事業者が安全な食品を提供するよう支援します。 対象〔食品関連事業者〕 実績(現状値)食品衛生管理認定制度認定施設数 H19:19施設 目標 50施設</p> <p>立入検査の実施 保健福祉局【継続】 保健所では、営業施設への立入検査時に、事業者自らが食品安全情報の発信を積極的に行うよう指導を行います。 対象〔食品関連事業者〕 実績(現状値)H19:のべ立入検査施設数 47,813施設 目標 50,000施設</p> <p>食品安全情報の提供促進 保健福祉局【継続】 保健所では、事業者対象の講習会を開催し、事業者から消費者へ安全情報を積極的に発信するよう支援します。 対象〔食品関連事業者〕 実績(現状値)H19:食品衛生講習会回数110回 目標 110回</p>
		2-2-3 「リスクコミュニケーション」の推進	<p>食品衛生監視指導計画の策定及び公表 保健福祉局【継続】 保健所では、食品衛生監視指導計画の策定時に市民等から広く意見を求めて、市民等の意見を反映させた計画を策定するとともに、監視指導の実施結果について公表するなど、行政と市民との意見交換・情報交換を図ります。 対象〔市民〕 実績(現状値)毎年策定 目標 毎年策定</p> <p>「食の安全」市民フォーラムの開催 保健福祉局【継続】 保健所では、「食の安全」市民フォーラムを開催し、市民、食品関連事業者、行政などが、食の安全について相互に情報や意見を交換し、関係者相互の理解を深めます。 対象〔市民、食品関連事業者〕 実績(現状値)H19:参加人数130人 目標 各年150人</p> <p>保育所で食品衛生に関する指導 子ども未来局【継続】(再掲) 保育所では、給食を食べる前の手洗いやクッキングなどを通して衛生について学習します。 対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値)指導実施施設数 H19:187施設(17,000人)〔全施設〕 目標 190施設(全施設)</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
2 市 民 が 暮 ら し や す い 環 境 づ く り	2-3 農 業 を 身 近 に 感 じ る 都 市 環 境 の 実 現	2-3-1 食 農 教 育 と 農 業 体 験 機 会 の 充 実	<p style="text-align: center;">さとらんど農業体験 経済局【継続】</p> <p>「サッポロさとらんど」を核とし市民が気軽に農業を体験したり、農的なふれあいを楽しむことのできる機会を増やします。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)市民参加数 H19:612,220人 目標 各年60万人 体験小学校・幼稚園・保育所数 H19:15校 目標 各年15校</p> <p style="text-align: center;">市民農園整備事業 経済局【継続】</p> <p>農政部では、市民が気軽に農業を体験したり、農的なふれあいを楽しむことのできる機会を増やすために、市民農園を整備します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)整備地域面積 H19:17ha 目標 各年1ha増</p>
		2-3-2 札 幌 の 農 業 や 農 産 物 に 関 す る 理 解 の 促 進	<p style="text-align: center;">観光農園等への支援 経済局【継続】</p> <p>農政部では、生産者が直接消費者と接して農の魅力伝えるために、観光農園や直売所などへの支援を行います。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)直売に取り組む農家数51軒 目標 80軒</p> <p style="text-align: center;">特色ある農産物に高付加価値をつける取り組み 経済局【継続】</p> <p>農政部では、さっぽろとれたてっこ農産物の普及拡大を図るため、商工観光産業等との連携による農産物の加工・ブランド化を推進します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)認証加工品目数 H19:5品目 目標 8品目</p> <p style="text-align: center;">園児、児童、生徒に向けた教育事業 経済局【継続】</p> <p>農政部では、保育園、幼稚園、学校などにおいて、農業の体験や農業者との交流を通じて、農業や農産物に関する理解を深める取り組みを行います。(農体験リーダー制度H19発足)</p> <p>対象〔園児・児童・生徒〕 実績(現状値)派遣校 H19:2校 目標 各年6校</p> <p style="text-align: center;">広報誌等の発行 経済局【継続】</p> <p>農政部では広報誌やインターネット等を活用し、農業者、関係機関、消費者との情報交換等を行い、互いにコミュニケーションがとれる環境を整えます。</p> <p>対象〔市民〕 対象〔生産者・関係団体〕 実績(現状値)「北の大地」の発行年4回 目標 各年4回</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
2 市民が暮らしやすい環境づくり	2-3 農業を身近に感じる都市環境の実現	2-3-3 「顔の見える農業の実現」	<p>「顔の見える農業」の確立 経済局【継続】</p> <p>農政部では、土壌や農薬使用などの生産条件や、生産から消費まで流過程に関する情報を伝え、安全・安心な「顔のみえる農業」を確立します。 対象〔市民・生産者〕</p> <p>「さっぽろとれたてっこ」認証制度 経済局【継続】</p> <p>農政部では、札幌で生産された新鮮で質の良い農産物の「さっぽろとれたてっこ」の普及拡大に努めます。 対象〔市民・生産者〕 実績(現状値)認証農家数 H19:130戸 目標 150戸</p> <p>「さっぽろスイーツ」などの創造 経済局【継続】</p> <p>産業振興部では、地元農産物を使用した「さっぽろスイーツ」などの食品ブランドを創造します。 対象〔市民・関連事業者〕 実績(現状値)スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数130社 H22目標 170社</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
3 市 民 み ん な で つ く る 食 文 化	3-1 食 文 化 の 継 承 と 情 報 の 発 信	3-1-1 北 海 道 型 食 生 活 の 普 及 ・ 発 展	<p>北海道型食生活の普及 市民まちづくり局・保健福祉局・子ども未来局・教育委員会【新】</p> <p>食育関係局では、ご飯を主食として、野菜や肉、魚、海そうなどがバランスよくとれる「日本型食生活」に、北海道の食材を使った「北海道型食生活」が健康と環境に優れてることを普及・啓発します。</p> <p>消費者センターでは、広報紙を活用して、テーマに沿った情報を提供するよう努めます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)広報紙掲載回数 H19:0回 目標 各年2回</p> <p>保健所、保健センターでは、市民・食品事業者に対して「北海道型食生活」が健康や環境に優れていることを地域の健康づくり事業や食品事業者研修会等で普及・啓発します。</p> <p>また、「私の北海道型食生活」の献立を募集し、普及・啓発していきます。</p> <p>実績(現状値)離乳期講習会啓発回数 H19:0回 目標 各年195回 母親教室啓発数 H19:0人 目標 各年2,600人 北海道型食生活の応募数 H19:0人 目標 21年度から各年100件</p> <p>保育所では、給食だよりを活用し「北海道型食生活」を普及・啓発します。</p> <p>対象〔保育所入所児童の保護者等〕 実績(現状値)「北海道型食生活」の普及・啓発 H19:0施設 目標 190施設(全施設)</p> <p>学校では、給食時間、給食試食会、給食だよりなどを活用して、「北海道型食生活」を普及・啓発します。</p> <p>対象〔児童・生徒〕 実績(現状値)H19:小中学校数0校 目標 305校(全小中学校)</p> <p>「食」を楽しむ提案 経済局【新】</p> <p>産業振興部では「さっぽろスイーツ」など、札幌で生まれ育った「食」を楽しみ育むことを提案していきます。</p> <p>対象〔市民・関連事業者〕 実績(現状値)スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数 H19:130社</p> <p>保育所給食から情報発信 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所では、保育所給食などで四季の食材の利用など、気候風土に適した食材の利用や節分やひな祭りなどの行事食への取り組みを提案します。</p> <p>対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値)情報を発信する施設数 H19:187施設(全施設) 目標 190施設(全施設)</p> <p>学校給食から情報発信 教育委員会【継続】</p> <p>学校給食では、石狩汁などの郷土料理の提供やひな祭りなどの行事食への取り組みを行っています。</p> <p>対象〔児童・生徒〕 実績(現状値)H19:小中学校数305校(全小中学校) 目標 305校(全小中学校)</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
3 市 民 み ん な で つ く る 食 文 化	3-1 食 文 化 の 継 承 と 情 報 の 発 信	3-1-1 北 海 道 型 食 生 活 の 普 及 ・ 発 展	<p style="text-align: center;">「やさい・くだもの料理教室」の開催 経済局【継続】</p> <p>中央卸売市場では、青果物の普及と消費の拡大、市場流通について学ぶことを目的に、北海道で取れた野菜や果物を使い、市場で学ぶ・作る・食べる「やさい・くだもの料理教室」を開催します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)市場で学ぶ・作る・食べる「やさい・くだもの料理教室」開催回数 H19:10回 目標 各年10回</p> <p style="text-align: center;">「おさかな料理教室」の開催 経済局【継続】</p> <p>中央卸売市場では、魚の普及と消費の拡大、市場流通について学ぶことを目的に、北海道近海で取れた魚を使い「おさかな料理教室」を開催します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)「おさかな料理教室」参加者 H19:2,120人 目標 各年2,500人</p>
		3-1-2 情 報 発 信 と 食 環 境 整 備	<p style="text-align: center;">「目利きの達人見～つけた!」運動の推進 経済局【新】</p> <p>中央卸売市場では、高齢者等に小売店の情報を発信することにより、高齢者等が買物に興味を持ち外出の機会が増え、地域住民とのつながりを深め、生きがいを持つことに寄与し、最終的には、消費者が小売店での対面販売を通じて旬の食材や料理方法などを知ることにより、目利きの達人となることを目標に「目利きの達人見～つけた!」運動を推進していきます。</p> <p>また、市場ホームページを活用しこの運動の周知に努めていきます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)科学的アプローチ会議 H19:1回 目標 各年2回 科学的アプローチ会議関連料理教室 H19:0回 目標 各年1回 ラジオドラマの作成・放送 H19:0回 地域FM放送局でのPR H19:5回 目標 各年2回 ホームページの開設 H19年3月</p> <p style="text-align: center;">「食」の情報発信 経済局【継続】</p> <p>中央卸売市場では、テレビの生中継等を利用し、旬の生鮮食品情報を発信します。また、紹介された魚、野菜、果物について、市場ホームページでもお知らせします。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)ホームページの更新2回 目標 各年2回以上</p> <p style="text-align: center;">食品衛生の情報提供 保健福祉局【継続】(再掲)</p> <p>保健所では、食品衛生情報誌「キッチンメール」や食品の安全性に関するパンフレットの発行、ホームページ、出前講座などにより、市民に「食」の安全について、情報提供を行います。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)キッチンメール発行数 H19:15,000部 目標 各年15,000部 出前講座 H19:22回 目標 各年20回</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
3 市 民 み ん な で つ く る 食 文 化	3-1 食 文 化 の 継 承 と 情 報 の 発 信	3-1-2 情 報 発 信 と 食 環 境 整 備	<p>栄養情報の発信 子ども未来局【継続】</p> <p>保育所や各区の保育・子育て支援センター、子育て支援総合センターでは、給食だよりを発行したり、講座を行い、子どもの食育や栄養の重要性についての情報を発信します。</p> <p>対象〔保育所入所児童の保護者、子育て中の人、一般〕</p> <p>実績(現状値)食育講座回数 H19:58回 目標 70回</p> <p>公立保育所栄養士及び子育て支援総合センター指導実績</p> <p>実績(現状値)給食だより発行施設数 H19:187施設(全施設) 目標 190施設(全施設)</p> <p>外食料理栄養成分表示推進事業 保健福祉局・区【継続】</p> <p>保健所では、健康づくりを進めるためにエネルギーの表示を3品以上行う飲食店を「栄養成分表示の店」として登録し、ホームページ等で紹介していきます。</p> <p>保健センターでは、「栄養成分表示の店」への理解促進を図るために市民啓発を行います。</p> <p>実績(現状値)「栄養成分表示の店」登録数 H19:1,217店 目標 3,000店</p> <p>「栄養成分表示の店」啓発回数 H19:326回 目標 326回</p> <p>食物アレルギー食への対応 子ども未来局・教育委員会【継続】</p> <p>保育所給食では、食物アレルギーのある子どもに対し、必要に応じて個別に配慮した給食を提供します。また、毎年、食物アレルギーの実態調査を行い、対策を検討します。</p> <p>学校では、「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、食物アレルギーのある児童生徒に対し除去食等の対応を行います。</p> <p>対象〔保育所入所児童〕</p> <p>実績(現状値)食物アレルギー食対応施設数 H19:177施設 目標 180施設</p> <p>実績(現状値)食物アレルギー実態調査対象施設数 H19:187施設(全施設) 目標 190施設(全施設)</p> <p>対象〔児童生徒〕</p> <p>実績(現状値)除去食等の対応校数 H19:99校 目標 除去食等の対応が必要な全学校</p> <p>「食のまち」札幌の推進 経済局【継続】</p> <p>産業振興部では、「札幌の食」のブランド化を図るため、スイーツを切り口としたイベントの開催や食品見本市への出展、食に関する情報発信拠点の整備など、重点的、複合的に食産業の振興を支援し「札幌の食」を国内外に発信します。</p> <p>対象〔市民・関連事業者〕</p> <p>実績(現状値)スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数 H19:130社 H22目標 170社</p> <p>「食のまち」札幌発信拠点の整備 H22目標 整備</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
3 市民 みんな でつく る食文 化	3-2 「地産 地消」 の推 進	3-2-1 消費 者と 生産 者の 理解 促進	<p>農業応援団の育成 経済局【継続】</p> <p>日本の食料自給率は約40%で外国からの依存が高くなっています。日本の農業や農産物に対する正しい理解が必要となっていることから、農政部では、市民が主体となった農業応援団のさつばろ農学校を育成し、生産者を応援します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)農業応援団育成数 H19:17人 目標 各年25人</p> <p>地産地消推進事業 保健福祉局・子ども未来局・経済局・教育委員会【継続】</p> <p>北海道産食材を使用することの意義を市民に広く啓発していきます。食育関係局が発行する情報誌やホームページを活用し地産地消の普及・啓発をしていきます。</p> <p>保健所・保健センターでは、地域食育講座などを活用して地産地消を啓発し市民理解を促進します。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)地域食育講座 H19:年0回 目標 各年30回以上</p> <p>保育所では、食育講座などを活用して地産地消を啓発します。</p> <p>対象〔保育所入所児童・保護者・一般〕 実績(現状値)地産地消啓発回数 H19:未実施 目標 各年10回以上</p> <p>農政部では、関連イベント等も含め、あらゆる市民啓発事業を活用し地産地消の普及・啓発に努めます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)地産地消啓発事業参加者 H19:20,600人 目標 各年2万人</p> <p>中央卸売市場では、農業体験を通じて、青果物の地産地消・流通の啓発に努めます。</p> <p>対象〔母親と子供(小学生以下)〕 実績(現状値)「母と子のイモ掘り体験ツアー」 H19:196人 目標 各年200人</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業(H20年～H24年)
3 市 民 み ん な で つ く る 食 文 化	3-2 「 地 産 地 消 」 の 推 進	3-2-2 地 元 の 産 物 の 利 用 及 び 提 供 の 拡 大	<p>給食での利用 教育委員会・子ども未来局【継続】</p> <p>保育所、学校では、北海道産食材を使った給食の提供に努めます。また、その内容を児童・生徒、保護者に伝えていくことなどにより、北海道産食材への理解を促進させます。</p> <p>対象〔小学校・中学校〕 実績(現状値)H19:北海道産食材の使用75%(重量) 目標 75%以上</p> <p>対象〔保育所入所児童〕 実績(現状値)給食実施施設数 H19:187施設(全施設) 目標 190施設(全施設)</p> <p>「さっぽろとれたてっこ」事業 経済局【継続】(再掲)</p> <p>農政部では、札幌で生産された新鮮で質の良い農産物の「さっぽろとれたてっこ」の普及拡大に努めます。</p> <p>対象〔市民・生産者〕 実績(現状値)認証農家数 H19:130戸 目標 150戸</p>

目 標	重点 取組	主な 施策	食育推進計画の事業(H20年 ~ H24年)
3 市民 みんな でつくる 食文化	3-3 地域 における 食育の 推進	3-3-1 食育 推進 体制の 整備	<p style="text-align: center;">美味しいまち げんきなまち食育推進事業 保健福祉局・区【新】</p> <p>保健所・保健センターでは、母親・子どもへの「食」応援事業を行うとともに食育を地域運動として広げていくために、食育サポーターの登録、食育情報の集約化、情報提供などを行っていきます。</p> <p>対象〔市民〕 実績(現状値)食育サポーター登録数 H19:0件 目標 1,000件</p> <p style="text-align: center;">新たな秋のイベント事業 観光文化局【新】</p> <p>観光部では、大型イベントの少ない秋に集客増を図るために、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとして、北海道の食を中心に地産地消・食育などをコンセプトとした新たな集客イベント「さっぽろオータムフェスト 2008」を実施します。</p> <p>対象〔市民・観光客〕 実績(現状値)観客動員数 H19:0人 H22目標 各年80万人</p> <p style="text-align: center;">食育推進ネットワーク事業 保健福祉局【新】</p> <p>保健所では、「札幌市食育推進計画」を推進するために、食育関係者が情報交換や情報の共有化を図ることを目的に「食育推進ネットワーク事業」を進めます。</p> <p>対象〔食育関係者〕 実績(現状値)食育推進ネットワーク会議開催回数 H19:0回 目標 各年1回</p> <p style="text-align: center;">栄養教諭等による食育の推進 教育委員会【継続】</p> <p>学校では、栄養教諭などを中核として食育の取り組みを進めます。また、学校給食における食物アレルギー対応の体制整備のさらなる充実を図ります。</p> <p>対象〔小学校・中学校〕 実績(現状値)栄養教諭配置数 H19:20人</p> <p style="text-align: center;">食育推進会議の開催 保健福祉局【継続】</p> <p>保健所では、食育推進計画の効果的・効率的な推進を図るために、食育推進会議を開催します。食育推進会議では、計画の進捗管理等を行います。</p> <p>対象〔食育関係者〕 実績(現状値)札幌市食育推進会議開催回数 H19:5回 目標 各年1回以上</p> <p style="text-align: center;">外食料理栄養成分表示推進協議会の開催 保健福祉局【継続】</p> <p>保健所では、外食料理栄養成分表示事業を推進するために、栄養士会、食生活改善推進員協議会、飲食店の代表者等を構成員として、外食料理栄養成分表示推進協議会を開催します。</p> <p>対象〔食育関係者〕 実績(現状値)外食料理栄養成分表示推進協議会開催回数 H19:1回 目標 各年1回</p> <p style="text-align: center;">健康づくり推進協議会の開催 保健福祉局【継続】</p> <p>保健所では、「健康さっぽろ21」を推進するために、医師会、歯科医師会等の学識経験者と連合町内会会長等を構成員として、母子保健の充実や栄養・食生活、運動の推進等について協議します。</p> <p>実績(現状値)健康づくり推進協議会開催回数 H19:1回 目標 各年1回</p>

目 標	重 点 取 組	主 な 施 策	食育推進計画の事業（H20年～H24年）
3 市 民 み ん な で つ く る 食 文 化	3-3 地 域 に お け る 食 育 の 推 進	3-3-2 札 幌 市 の 食 育 推 進 運 動	<p>■食育月間等の啓発事業実施 〈市民まちづくり局・保健福祉局・子ども未来局・経済局・教育委員会〉【新】</p> <p>食育を国民運動として推進するために、国では毎年6月を食育推進月間に定め、食育を進めることとしています。 札幌市は食育月間等に、シンポジウムなど食育を推進するための啓発事業を行います。 対象〔市民〕 実績（現状値）：食育シンポジウム等 H19:0回 →目標 各年1回</p> <p>■研修会・シンポジウムの開催〈保健福祉局〉【継続】</p> <p>保健所では、市民の食育への関心を高めるために、「食育」に関する研修会やシンポジウムを開催します。 対象〔市民〕 実績（現状値）：特定給食施設管理者研修会 H19:2回 →目標 各年2回</p> <p>■食育に関する調査の実施〈保健福祉局・子ども未来局・教育委員会〉【継続】</p> <p>食育への関心や主要食品の摂取動向等を把握するために、食育に関する調査を実施します。 対象〔市民〕 実績（現状値）：H19:市民アンケート1回 →目標 1回以上 H18:市民健康・栄養調査1回 →目標 1回以上</p>
		3-3-3 ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成 ・ 支 援	<p>■食育ボランティアの育成事業〈保健福祉局・区〉【継続】</p> <p>保健センターでは、健康づくりを進めるためにボランティアを養成するために、「札幌市食生活改善推進員養成講座」を開催します。 対象〔市民〕 実績（現状値）：食生活改善推進員養成講座人数 H19:158人 →目標 各年160人</p> <p>■食育ボランティアの支援〈保健福祉局・区〉【継続】</p> <p>保健所・保健センターでは、食育ボランティアの札幌市食生活改善推進員協議会に対して研修会の開催や事業推進のための会議などを開催し、市民啓発を行いやすい環境づくりに努めます。 対象〔食生活改善推進員〕 実績（現状値）：研修回数 H19:50回 →目標 各年50回</p> <p>■農体験リーダーの育成〈経済局〉【継続】</p> <p>農政部では、農体験リーダーの認定・育成を行い、農業体験学習会等へ講師として派遣します。 対象〔農業体験リーダー〕 実績（現状値）：派遣数 H19:4回 →目標 各年10回</p>